

第 1 4 回協議会議事（3）に伴う意見書でいただいたご意見

（1）本町地区における公共交通の考え方

- 既存路線バスとの接続、乗り換えがし易いような施策も検討いただきたいです。

（2）大川・大中山地区における公共交通の考え方

- 既存路線バスとの接続、乗り換えがし易いような施策も検討いただきたいです。

（3）藤城・峠下地区における公共交通の考え方

- 市街地輸送を検討する際は、路線バスやタクシーなどへの影響も考慮し、既存事業者と十分協議したうえで進めるべきと考えます。
- 既存路線バスの本数が人口割合的にも比較的多いですが、利用率が残念ながら少ない地域です。このような地域での新サービスは既存事業者に大きく影響を与えることが懸念されますので、慎重な施策検討を願いたいです。

（4）大沼地区における公共交通の考え方

- 既存の路線バスも活用できるように、運行の無い時間帯を他の交通で補い、行きは他の交通で、帰りは路線バスを使うような交通連携で当地区の交通を補完できるよう検討をしていただきたいです。
- 市街地輸送を検討する際は、路線バスやタクシーなどへの影響も考慮し、既存事業者と十分協議したうえで進めるべきと考えますが、大沼地区は意見交換会でも移動手段の要望が高かったため、早急な対応が必要と考えます。

(5) その他（今後の進め方など）

- 既存路線事業者の維持をしつつ、不足している所を他の交通が補うような施策であってほしいと願っております。
- 今回のタクシークーポンについては、利用者数や収入がUPし、大変感謝申し上げます。ただ、アンケートや乗務員へ話を私が聞いたところ、本町など、病院や店舗が近いお客様は、大半の料金がクーポンで賄われ、利用回数が2回3回へと伸びたようですが、大沼や峠下の住民の方は、一回はご乗車いただくが、クーポンの利用枚数が1枚ということもあり、それ以降の利用がないように思います。
地区によって使用枚数を区切ると苦情もあると思いますので、利用金額に応じて1,000円なら1枚、1,500円なら2枚というふうにすれば、全町民が2回3回と利用していただけるのではと思いますので、宜しくお願い致します。